

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3 年	2	必修
担当教員			
横田 昌彦			
A (会計学科)	S (専門科目)	SM (演習)	401 (専門ゼミ・卒業論文等)
授業のねらい (概要)	会計学における基礎的な研究能力の養成と研究意義の涵養、卒業後も自律、自立して学修できる態度を身に付けることを目的として、専門領域の問題や課題を追求し、発展させていくための研究の原理と方法の基礎を学ぶ。研究の位置づけと意義、研究のプロセス、研究の方法、研究の種類、研究の倫理などについて理解するとともに、情報収集や分析方法、文献検索や文献購読の方法、研究計画の立案と研究計画書の作成、研究論文の書き方や研究発表の仕方について学修する。		
授業計画	研究の理解 研究の位置づけと意義、研究のプロセス、研究の方法、研究の種類、研究の倫理などについて理解する。 予習 (時間) : タイトルの項目についてホームページなどで検索しておく (120分) 復習 (時間) : タイトルの項目についてまとめ、実践する (120分) 情報収集の仕方など 情報収集や分析方法、文献検索や文献購読の方法、研究計画の立案と研究計画書の作成、研究論文の書き方や研究発表の仕方について学修する。 予習 (時間) : タイトルの項目についてホームページなどで検索しておく (各120分) 復習 (時間) : タイトルの項目についてまとめ、実践する (各120分)		
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	DP (商学部) の2項目を意識した科目となっている。 1. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 2. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力 DP (会計学科) の1項目を意識した科目となっている。 1. 会計学の専門的知識を持ち、職業会計人として全うできる能力 【身に付くスキル】 生涯学習力・情報活用能力		
到達目標	①研究の位置づけと意義を明確にすることができる。 ②研究のプロセス、研究の方法、研究の種類、研究の倫理などについて理解し、説明することができる。 ③情報収集や分析、文献検索をすることができる。 ④研究計画の立案と研究計画書の作成をすることができる。 ⑤研究論文の書き方や研究発表の仕方について理解し、説明することができる。		
課題や小テスト等のフィードバックの方法	課題の全体的な注意点などを授業内で解説する。		
履修上の注意	次の事項について十分に注意すること。 (1) 講義の他、朝7時から予習復習を行う (2) web視聴を前提とした反転講義を行う (3) 欠席の場合には事前に教員に連絡する (4) 欠席 (公欠含む) 6回で履修放棄とみなす (5) 公認会計士論文式試験と同等の知識を要する (6) 卒業延期をしてまでも必ず公認会計士になりたいという意思を要する (7) 会計のプロを志す者として、周りに迷惑をかけないふるまい、身だしなみを要する		
成績評価の方法・基準	授業内外の「課題」 (100%)		
教科書	経理研究所において利用している「財務諸表論」のテキストを利用する。		
参考書・教材			
備考	講義科目／実務家教員による授業 2020年度は、13～15回は課題研究として学修する。 当初シラバスの「授業時の講義内容」に充当する資料と「授業時の指示」を代替する資料の配信、及び作業指示を高崎商科大学経理研究所のwebシステムなどで行う。各回全体で330分の学修を想定している。		
教員との連絡方法	高崎商科大学経理研究所のwebシステムを通じたメール (アドレスは授業内で周知)		